



## 「サステナビリティボンド」への投資について

### ～SDGs達成に向けた取り組み～

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するサステナビリティボンドへ投資しましたのでお知らせいたします。

「サステナビリティボンド」とは、①環境改善効果があること（グリーン性）、②社会的課題の解決に資する（ソーシャル性）事業に資金使途を限定して発行する債券です。

本債券の発行により調達した資金は、鉄道建設プロジェクトや船舶共有建造プロジェクトに充当され、国連の提唱する「持続可能な開発目標（SDGs<sup>（注1）</sup>）」の達成に貢献するものです。

当行は、「百十四銀行SDGs宣言」を制定しており、今後も金融を通じて持続可能な社会の実現と当行の企業価値向上につとめてまいります。

#### （投資したサステナビリティボンドの概要）

銘柄	第130回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2019年8月29日
その他	①国際的な第三者評価機関であるDNV GL <sup>（注2）</sup> からのプログラム認証を受けております。 ②環境改善効果については、厳格な国際基準を設けるCBI <sup>（注3）</sup> からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）を取得しております。

（注1）「**Sustainable Development Goals**」の略称。2015年9月の国連サミットで採択され、2030年までに国際社会が達成すべき「貧困や飢餓の根絶」「環境保全」「多様な人材の活躍」「技術革新」等の17の目標とそれを実現するための169のターゲットで構成されています。

（注2）1864年に設立されたノルウェー・オスロに本部を置く第三者評価機関

（注3）Climate Bonds Initiativeの略称。低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO

以上